

京都市地域防災計画 原子力災害対策編の運用状況について ≪平成26年度≫

1 環境放射線モニタリング

(1) 環境放射線モニタリングの実施

別添 1

- ・環境放射線モニタリング計画及び水道対策計画に基づき、モニタリングを実施
- ・実施項目『空間放射線量率』,『水道水及び水道原水』,『農産物』,『河川水及び底質土』

(2) 環境放射線モニタリング体制の充実

- ・測定機器（NaIシンチレーションサーベイメータ）の校正（平成26年度内実施）

2 避難活動体制の整備

(1) 原子力災害避難計画に基づくUPZ3地域の避難マニュアルの修正

UPZの各地域の住民が、避難マニュアルを見直し、連絡網、地元集合場所、車の乗合い、要配慮者の支援体制等を最新のものに修正

- ・左京区久多（平成24年8月作成、平成25年11月修正、平成26年8月修正）
- ・左京区広河原（平成24年8月作成、平成26年1月修正、平成26年8月修正）
- ・右京区京北上弓削町上川行政区（平成25年8月作成、平成26年内に修正予定）

(2) 原子力防災訓練の実施

・訓練内容

避難マニュアルを活用した連絡網による避難情報の伝達及び訓練会場(避難時集合場所)への避難

訓練会場では、汚染検査や健康調査の体験、除染設備、パネル及び災害時の備蓄品等の展示見学

訓練後、原子力防災に関する講習会の聴講

・参加者数

左京区広河原（平成26年9月7日（日））112人（うち住民78人）

左京区久多（平成26年9月20日（土））99人（うち住民51人）

3 原子力防災に関する市民等に対する知識の普及と啓発

(1) 市民向け啓発リーフレットの配布

- ・リーフレット『京都市の原子力防災』の配布（平成26年6月）

作成・配布部数 13,000枚

配布先 市役所、区役所・支所、消防署での配架

消防団，自主防災組織への配布

UPZ内の全世帯への配布，自主防災会からの回覧

(2) 住民に対する原子力防災に関する普及・啓発（講習会の実施）

- ・原子力部会の大野委員による原子力防災に関する講習会の実施

講習内容「正しい放射線の理解について ～原子力防災を考える～」

講 師 京都市防災会議専門委員会（原子力部会）大野和子委員

左京区広河原 平成26年9月7日（日）訓練終了後に実施

左京区久多 平成26年9月20日（土）訓練終了後に実施

4 防災業務関係者の育成

(1) 防災業務関係者に対する研修等（平成26年度）

- ・平成26年6月19日（木）防災業務関係者のための放射線防護研修【国主催】

（受講者）左京区役所 地域力推進室 1人（防災担当）

- ・平成26年11月9日（日）京都府被ばく医療講習会【京都府主催】

（受講者）防災危機管理室 1人 ほかに（予定）